

山下菊二 コラージュ展

Collages by YAMASHITA Kikujii

作品を通じて戦後の社会や政治の問題を訴え続けてきた山下菊二(1919-1986)。狭山差別裁判をテーマにしたコラージュを中心に、油彩、版画、素描等約60点を紹介。



《戦争と狭山差別裁判 No.29》1976年 紙,コラージュ



《戦争と狭山差別裁判 No.34》1976年 紙,コラージュ

2011年1月8日(土)～3月27日(日)

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館
The Museum of Modern Art, Kamakura Annex

休館日：月曜日(1月10日、3月21日は開館)、
1月11日(火)、3月22日(火)

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料：一般250円(150円)、20歳未満と学生150円(100円)
65歳以上100円、高校生100円
中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。
()内は20名以上の団体料金です。

会場：神奈川県立近代美術館 鎌倉別館
〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-8-1
tel.0467-22-7718

主催：神奈川県立近代美術館

◆プレスリリース及び展覧会情報は、当館
ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

○ファミリー・コミュニケーション日
毎月第一日曜日(今回は2月6日と3月6日)は、18歳未満のお子様
連れのご家族は優待料金(65歳以上の方を除く)でご覧いただけます。

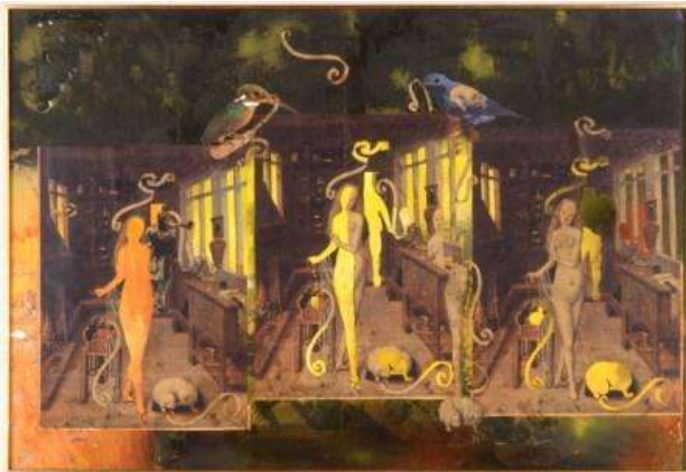
2009年度に当館へ寄贈された山下菊二のコラージュを中心に、油彩、版画、素描等、約60点を紹介します。山下菊二(1919-1986)が亡くなって今年で25年になります。山下菊二は、徳島県三好郡辻町(現、三好市井川町辻)に生まれ、太平洋戦争中は中国戦線に動員されて過酷な状況を生きました。戦後は自らの戦争体験を背景に、社会や政治をテーマにした作品を発表。1970年代半ばから戦争と狭山事件をテーマにしたコラージュによる作品を制作しました。山下は生涯描くことで社会に問いかけ、戦い続けた画家です。けれども、社会の現実に向ける山下のまなざしは、厳しくも時にウィットやユーモアを交えた温かみがあります。終戦から65年が経ち、インターネットを通して世界中に情報が瞬時に流れる時代となった現在も地球上では戦争が続いています。山下が作品に表現しているものは、戦後史の証言であると同時に未来に向けてのメッセージでもあります。ぜひ、ご覧ください。



《戦争と狭山差別裁判 狭山にさしかかったマクシミリアン一世の凱旋》
1976年 油彩、コラージュ、パネルに紙



《玉雪に脱ぐ》(寄託) 1975年 紙、コラージュ



《帰ってきた兵隊》1970年 紙、コラージュ

関連企画

「座談会 山下菊二を語る」

* 詳細は、当館のホームページをご覧ください。

<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

担当学芸員によるギャラリートーク

2011年2月12日(土)、3月12日(土)

各回午後2時より/申込不要/参加無料

(ただし、「山下菊二 コラージュ展」の観覧券が必要です)

お問い合わせ先

神奈川県近代美術館 鎌倉

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-1-53

tel.0467-22-5000 fax.0467-23-2464

広報担当: 山内、松尾 展覧会担当: 長門